

## 第2回江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会 会議要旨

会議名：第2回江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会

開催日時：平成29年8月21日（月） 午前10時～午前11時40分

開催場所：江南市役所3階 第2委員会室

委員：出席委員

松尾 昌之（学識経験者）

笹瀬 ひと美（教育代表）

野木森 千恵子（NPO代表）

早川 徹也（金融代表）

宮地 友治（市議会代表）

沓名 珠子（子育て代表）

宮道 末利子（市民公募）

島 真由美（市民公募）

事務局：片野 富男（市長政策室長）

坪内 俊宣（地方創生推進課長）

矢橋 尚子（地方創生推進課地域協働グループリーダー）

加納 康陽（地方創生推進課地域協働グループ）

原 知美（地方創生推進課地域協働グループ）

資料1 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告書

資料2 各取組・事業の進捗状況管理シート

資料3 提言等に対する対応

資料4 新旧対照表

議題	1. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
	2. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について
	3. その他

はじめに、

### 会長挨拶

本日はご多用中、第2回江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタートし、成果が出ているところでありますが、この協議会は総合戦略の見直しの要否や事業の検証を行うために様々な分野の方が委員として参画し、

ご意見をお出しいただくことで業務の推進に資するというものでございます。

この後、事務局より総合戦略の進捗状況について、説明がございましたけれども、委員の皆様には積極的にご意見・ご提言をいただきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

### 次第3 議題

#### (1) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について及び

#### (2) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について

○事務局よりまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について資料に沿って説明がありました。

○事務局よりまち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について説明がありました。

会長	事務局から事業の進捗状況についての説明がありました。ご意見・ご質問等があればお願いします。
委員	進捗状況報告書P12 にあります基本施策1-②人を惹きつける江南の魅力発信の重要業績評価指標（KPI）のふるさと納税の納税者数について、実績値が平成28年度で下がった理由と実績値が下がった中で目標値（H31）は1,800人のままととなっているが、その根拠を教えてください。
事務局	<p>ふるさと納税の納税者数の基準値1,616人は、平成26年度10ヶ月間の実績であり、当時は平成31年度も1,800人程度納税者がいると市としてはありがたいということで設定しました。</p> <p>平成26年度の実績値は1,616人、平成27年度は1,362人、平成28年度は697人に下がっております。</p> <p>実績値については、毎年、増減しますが、減少したからといってすぐに目標値を変更することはいたしておりません。</p> <p>平成26年度の開始当時は、県内でクレジットカードによる納税を行っていた団体が、4団体であったことから、比較的優位性がありましたが、その後競争が激化しており、現在、ふるさと納税を行っているほとんどの自治体で寄附金をいただいた方にまちの特産品などを記念品として送っております。</p> <p>そのような中、総務省から、高価なものや換金性の高いものについては、止めるように見直しの通知も出ており、各市町村が見直し中であります。</p> <p>今後は、目標値の達成に向けて、納税者数が増えるようなPRとして、記念品のバリエーションを増やすことを検討しており、</p>

	<p>バリエーション豊かな記念品により、江南市の優位性がまた高まるのではないかと考えております。</p> <p>難しいとは思いますが目標値の達成に向けて努力してまいります。</p>
会長	<p>目標値と実績値の間には、常にギャップがあるということですが、ここにある目標値は、達成目標なのか努力目標なのかを知りたいです。</p>
事務局	<p>計画策定時は、平成 31 年度に達成できる数値として設定しており、実際には難しいところも出てきておりますが、達成できる目標値を下げて辻褄を合わせるのではなく、達成に向けて努力していくこととしております。</p>
委員	<p>進捗状況報告書 P20 基本施策 2-②子育てを支援する制度の充実の重要業績評価指標（KPI）の保育園入園待機児童数について、実績値が 0 人となっていますが、それぞれの住んでいる地域内の保育園に全ての子どもが入っているから 0 人なのか、希望する保育園がいっぱいで、他の保育園に入ってもらったから 0 人なのかを知りたいです。</p> <p>江南市が安心して子育てできる環境であれば、例えば中学校の校区によっては小学校の中で 2 つの中学校に分かれて通う場合があります。小学校の半数が同じ中学校に行ければいいけれども、古知野南小学校の場合ですと古知野中学校と西部中学校へ行くが、西部中学校へは各学年で少ないと 5 人から 10 人、多くても 20 人くらいしか入らないため、全生徒の割合からすればすごく少ない。子どもが分かれるのは、いじめの対象にもなりうると思います。</p> <p>保育園でも同じことが言えると思います。住んでいる近くの小学校に入ることになるため、近くの保育園に入れた上での 0 人なのか知りたいです。</p>
事務局	<p>かつては住所と保育園が結び付けられていたときもありましたが、現在では江南市内全体で考えるということで、保育園については選択性になっております。一番近い保育園に入園してもらうのではなく、保育園を選んでもらうようになっております。</p> <p>待機児童に含めない要件の 1 つに、特定の保育園を希望して入れない場合があります、統計上は待機児童には含めないこととなっております。</p>

委員	<p>その基準では、0人であっても、住んでいる小学校区により小学校に入るのだから、一番近い保育園を希望しても入れない場合には、本来、待機児童に含めるべきではないですか。</p>
事務局	<p>待機児童に含めない要件は、厚生労働省が基準として定めたものを全国的に使っており、江南市独自の基準で二重に発表するかは担当課の判断もあると思います。</p> <p>厚生労働省が定めた要件に沿った形で集計すると従来どおり0人になったということでございます。</p> <p>名古屋市につきましても、今年4月に4年連続で対象者は0人であったという報道がありました。実態と合わないという話がありますけれど、要件に合わせると0人になるということがございます。</p> <p>江南市独自の基準も併せて公表するかどうかにつきましては、ご意見を担当課に伝えます。</p>
会長	<p>保護者がどの保育園を選ばれるかというときに、通勤経路等を考えて必ずしも自宅に近いところを選ぶとは限らないということはあると思います。特定の保育園を希望しない方についても、希望を出してもらって、第1希望で入れる人はどれだけ、第2希望ではどれだけ、第3希望ではどれだけが入れられるのか割合を出して、最終希望でクリアされるのではなく、できるだけ第1、第2希望くらいで入れるのが望ましいと思います。</p>
委員	<p>第1、第2、第3希望を書きなさいと言われたときに、夫婦共働きが多いため、地元の保育園に預けたいがいっぱいに入れないと第2、第3希望を近いところから書かざるをえない状況になると思います。地元の小学校へ行き、地区の中学校へ行くというのが基本だと思うので、江南市の特性を子育て世代へPRするためにも、全国統一的な統計の基準で済ませるのではなく、江南市独自の基準を公表すべきだと考えます。</p>
委員	<p>進捗状況報告書P22 基本施策2-②子育てを支援する制度の充実のiv) 放課後児童健全育成事業(学童保育)の利用対象年齢の拡充、整備について、今年度から4年生まで受け入れるため施設整備を行いましたということで、人数も増えてきていると思いますけれども、実際の現場ではそれを受け入れるための人的な受け皿に四苦八苦しており、なかなか支援員が集まらないためとても大変だと聞いています。</p> <p>それと関係して、P23vii) 学校補助教員等の充実について、ス</p>

	<p>クールソーシャルワーカーを2名設置されていますが、同じような事業内容であるのに、なぜ学童保育の支援員は集まらないのか、待遇の問題なのか原因をきちんと調査していただいて、人的な受け皿について、市としてどのように考えているのかを教えてください。また、将来的には受け入れる年齢を上げていくともっと人手不足になると懸念されますが、どのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>学童保育の支援員さんの声や現場の課題をコーディネーター役の支援員さんが巡回して聞き取り、担当課へ報告し、スムーズに運営できるように調整をしておりますが、支援員が不足しているがために受け入れられないというのは、ご指摘のとおりだと思います。担当課もきちんと把握しておりますが、現状としてはこのような状況であります。子ども・子育て応援プランなどには、将来的には6年生までと明記してありますが、どのように進めていくかは今後検討してまいります。</p>
会長	<p>受け皿を整備しますと書いてあって、それを実現するためにいろいろと努力しておられるけれども、それを支える人材の確保が難しい。折角、施設を整備しても活用されていないのでは問題なので、人材確保を行うための対策を示してほしいのと、進捗状況をどのように評価しているのかを担当課へ伝えていただきたい。</p>
委員	<p>金融機関の立場から言わせていただくと、基本目標3働き続けられる雇用・就労環境づくりが一番大事なかなと思います。</p> <p>基本施策が3つありますけれど、中でも進捗状況報告書P24基本施策3-①雇用力の強化と場の拡大が大事なかなと思います。</p> <p>人が生活するためには働かないと食べていけないので、働く場が非常に大事で、そのためには企業が大事だと思いますが、P25のii) 市内企業の振興、iii) 企業誘致の推進が働く場の確保ということでは非常に大事なかなと思います。</p> <p>市内企業向け助成の利用件数や企業誘致等により立地した企業数(累計)の実績値が0件なので、もっとがんばってほしいと思います。</p>
事務局	<p>市長自らトップセールスを行ったりもしております。一朝一夕で成果が出るものではありませんが、いずれ皆さんに成果をご報告できる日が来ると思っておりますので、引き続き努めてまいります。</p>

委員	<p>協議会への報告の後は、どのように進められていくのか。 本日の意見や提言がどのように活かされるのか。</p>
事務局	<p>今日の報告を基に来年度の事業計画をこれから立てる時期になりますので、その前に皆さんからご意見をいただきたいと考え、今回の会議を開催させていただきました。</p> <p>本日いただいた意見や提言は、提言書としてまとめ、会議内容は、議事録としてまとめまして公表いたします。</p> <p>各事業担当課には、皆さんからいただいた意見を伝え、新たな気づきとして更なる事業の推進力として活かしていきます。</p>
委員	<p>進捗状況報告書 P9 基本施策 1－①江南の優位性を活かした生活環境づくりの重要業績評価指標（KPI）の駅周辺の交流施設数について、目標値（H31）の4箇所目はどこか決まっていますでしょうか。</p>
事務局	<p>計画策定時には1箇所増設を目標としておりましたが、布袋駅東地区の開発計画の中で行政窓口と交流施設を設置するという案があり、どのような形で実現するかは未定ですが、検討を進めているところでございます。</p>
委員	<p>進捗状況報告書 P12 基本施策 1－②人を惹きつける江南の魅力発信の重要業績評価指標（KPI）のふるさと納税の納税者数に関連して、江南市の記念品はどのようなものがあるかを見てみたところ、品切れ中になっているものが何品かあります。品切れ中になら止めようと思ってしまうので、市民のニーズにあった記念品を充実させてもらえると寄附件数が伸びるのではないかと思います。</p> <p>P32 基本施策 4－①高齢社会を支える仕組み・体制づくりのv) 買い物困難者への支援の充実の給食サービスの支援について、給食サービスを総合事業として地域包括支援センターで行っているのは知っているが、高齢者の買い物難民の支援をするために給食サービスのプランを作ることに翻弄されています。</p> <p>地域包括支援センターの役割は、こうなん健康マイレージの生涯を通じた健康づくりのように過ごしやすい、市民を活性化していくという方向に持って行ってほしいと思いますが、総合事業の方向性が見えないため、センターの役割が市民に周知されていないように思います。</p> <p>役割が不明確なために、地域包括支援センターは介護保険に関して何か困ったことがあるときに相談をするというような機関</p>

	<p>だと思われていますが、介護が必要になる手前の健康な市民を作ることには力を注いでいく機関でもあってほしいと思います。</p>
事務局	<p>ふるさと寄附金につきましては、納税者数が増えるよう、魅力ある記念品のバリエーションを増やすことを検討しておりますが、市内在住者へ記念品を送付しないように総務省から見直しの通知が出ております。</p> <p>現在は、市内在住の方にも記念品を送付しておりますが、市民の皆さんには早い段階でお知らせした上で、本来の趣旨に沿って市外在住の方からの寄附に対してのみ記念品を送付することになります。</p>
委員	<p>P17 基本施策2-①地域全体で子育てする環境づくりのii) 小学生以下の子どもを対象とした読書通帳の配布に関連して、市立図書館にある本がかなり古くて子どもたちの興味をそそらないものが多いので書籍の充実化を図ってもらい、読書習慣を身につけられるようなまちづくりを進めてほしいです。</p> <p>本を借りるときは、大口町や扶桑町の図書館に行くということをよく聞きます。江南市の図書館には流行りの本がなく、あったとしても表紙が壊れていたりしているような状況なので、読書習慣をつけるために時代に合わせた新しい本を入れて循環させてほしいです。</p> <p>リクエストすれば入れてもらえるが、わざわざ足を運んでリクエストする方は多くありません。司書さんもいろいろと考えて本の入れ替えをやってくれているが、市民の意見が反映するようにもっといろんな人がリクエストして本を動かしていけば活性化すると思います。</p> <p>他の図書館になぜ人が集まるのかをリサーチしてほしいと思います。</p>
委員	<p>進捗状況報告書P22 基本施策2-②子育てを支援する制度の充実のv) 放課後子ども教室の整備の放課後子ども教室の教室数について、平成29年度で7室になると思いますが、P20の重要業績評価指標(KPI)の目標値(H31)には7室となっており、目標値をクリアしたことになりますが、将来的には全小学校で開設するのでしょうか。要望があれば開設してもらえるのでしょうか。</p>
事務局	<p>放課後子ども総合プランの子ども・子育て支援事業計画の中では、平成31年度までに7室となっており、計画通りに進んでお</p>

	<p>ります。担当課にも確認しましたところこの計画中にこれ以上新たに開設する予定はないということです。</p>
会長	<p>放課後子ども教室はそもそも学校に余裕教室があれば活用して実施するということであり、余裕教室がなければ開設することはできないため、全て小学校で開設はできないということであり、希望の有無も要素の1つであるかもしれないが、今後の児童数を見たときに余裕教室が出るのかどうかということも大きな要素になるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>均等に余裕教室があるわけではないため場所の確保の問題もあります。今後も常にニーズの把握に努めてまいります。</p>
委員	<p>進捗状況報告書P33 基本施策4-②地域でつくる安全・安心なまちの重要業績評価指標（KPI）の災害時における企業・自治体との応援・支援協定数について、実績値の44件で目標値を満たしていますが、災害時に必要な支援についての協定は44件で充分なのかを教えてください。</p>
事務局	<p>災害時における企業・自治体との応援・支援協定数は、災害時に必要十分な支援の協定数を目標値として設定したものではありません。平成29年度以降も事業所等と話がまとまれば協定を締結してまいります。</p> <p>目標値については、実績値の増減により即修正することはいたしておりません。</p>
委員	<p>進捗状況報告書P16 基本施策2-①地域全体で子育てする環境づくりに関して、児童館の職員から子どもたちへの対応が大変だということを知っており、続けられずに離職してしまうという問題があります。</p> <p>子どもの健全育成のために児童館の質を高めなくてはならないが、必要なスタッフを確保できないということや、スタッフの能力向上のために研修はあるが、充分であるかということについて、市として何か支援することはできないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>子育てに関連する職員については、やっていただける方が非常に少なく、さまざまところで募集やお声掛けをさせていただいております。毎年、正規の保育職を募集しておりますが、民間企業や他市町村も募集するためなかなか集まらない状況であります。</p> <p>ここ数年、子どもの数自体は減少していますが、預けたいとい</p>



	<p>う方は非常に増えております。</p> <p>そのような中で、保育士の市職員 OB の方などにお声掛けしたり、人員確保の努力はしていますが、需要が供給を超えているため、今すぐに具体的な解決策があるわけではありません。</p> <p>担当課で一生懸命募集し、確保する努力はしておりますのでご理解をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>働くお母さんへのケアについて、子どもが保育園の間はいろいろと声掛けもできるけれども、子どもが小学校に入って新しい環境の中で小学校 1、2 年生くらいの低学年のお母さんのケアするために悩みなどを話せる場所やカウンセラーなどはいらっしゃるのでしょうか。</p>
事務局	<p>スクールカウンセラーを 8 名配置し、相談にのっております。</p>
委員	<p>お母さん向けの講座を開催した際に、子どもが乳幼児の間は保育園や幼稚園等で話を聞いてくれるが、小学生になると相談する場がなくなるので、子どもへの対応など不安を話せる場を作ってほしいとの要望があり、昨年から低学年のお母さん向けの悩み相談を行っています。働きながら、悩みを抱えているお母さんたちの悩みを解消するために市としても取り組んでいただけたらと思います。</p>
会長	<p>今年度からスクールソーシャルワーカーが 2 名配置されていますが、スクールカウンセラーやこころの相談員などいろいろな専門スタッフが入っている中でなぜ入れたかという児童生徒への対応はきめ細かにできるけれども保護者への対応となると保護者にも仕事があったり、時間的な制約があったりするので、学校の先生では対応が難しいことがあるわけです。主として保護者への対応を行う専門スタッフとしてできたのがスクールソーシャルワーカーです。この方たちは学校で保護者が来るのを待つわけではなく、保護者の下に出掛けていきます。2 名体制で始まってこれからどのように機能を強めていかなければいけないかということをも市としても考えていると思います。</p>
委員	<p>学校のさまざまなサークル活動をやっている中で、新入生のお母さんが先輩のお母さんに相談して悩みが解決したという事例がありました。お母さん同士の交流の場ができることで解決できると思うので、コミュニティスクールの中でそういった活動はできないのでしょうか。</p>

事務局	<p>コミュニティスクールは、学校運営協議会を通じて学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について校長や教育委員会へ意見を述べたりすることができる制度です。</p> <p>江南市では調査段階であり、これから導入していきます。その中で保護者同士のつながりを作っていけるかは、コミュニティスクールの運営のあり方次第ですが、文部科学省からの広報では、保護者同士や地域の人たちとの人間関係が構築されることもメリットの1つとして示されています。</p>
会長	<p>これまでは学校教育というと、教育の専門家である先生たちが中心となって計画を立てて実行してきたけれども、地域の人や保護者が学校に期待するものと学校側が進めていくものとの間に乖離ができることがあります。</p> <p>コミュニティスクールは、学校教育というものを専門家である先生だけではなく、地域のいろいろな人たちにも力を出してもらうために1つのテーブルに着いて、教育の方向性はどこにあるとか、地域の人が学校にどのように力を貸すことができるとか、学校教育で効果が出るために地域としてやらなければいけないことは何かとの意見を出しあう場で、地域と学校で解決していくことの中心にあるのは学校教育の充実になっています。</p>
会長	<p>進捗状況報告書 P22 基本施策 2-②子育てを支援する制度の充実のiv) 放課後児童健全育成事業(学童保育)の利用対象年齢の拡充、整備について、対象を4年生まで全学校で行うように進めているが、制度的には6年生まで受け入れることになっている。一気に6年生まで広げるのは難しいので当面は4年生までとしています。いつまでに6年生まで拡充するという展望をもって進めていただきたいと思います。</p> <p>また、それに伴ってファミリー・サポート・センター事業も6年生まで対象になると利用者の利便性は高まると思いますので、併せて考えていただきたいと思います。</p> <p>学童保育の対象者が増えれば手狭になることは分かっているので、施設の増設も考えなければならないのではないかと思います。</p> <p>P17 基本施策 2-②子育てを支援する制度の充実のiii) 育児不安の解消に向けた支援の子育て支援センターの利用促進について、子育て支援センターの利用者が予想を超えて増えており、今後も増えていくだろうという中で、第4子育て支援センターを</p>

	開設できないか、もしくは利用者の利便性を考えて設置場所を移転するということを考えてもいいのではないかと思います。
事務局	<p>学童保育とファミリー・サポート・センター事業については担当課にご意見をお伝えします。</p> <p>子育て支援センターの増設については、現状はそういった計画はありません。利用者の増加にあわせて開設時間の拡大や公民館での開設等について先進事例を参考に調査研究してまいります。</p>

#### 次第 4 その他

○事務局より議事録及び会長名での市長あて提言書の作成について、出席委員に対し、正副会長への一任を依頼されました。

出席委員一同より了承されました。

---

江 南 市  
まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進捗状況報告書

---

平成29年7月

江 南 市

# 目次

---

第1章 基本目標と全体構成.....	1
1 総合戦略のコンセプトおよび基本目標.....	2
2 総合戦略の全体構成.....	4
第2章 目標達成のための取組とKPI.....	7
1 基本目標1:住みたいまち“江南”づくり.....	8
2 基本目標2:子育てしやすい環境づくり.....	16
3 基本目標3:働き続けられる雇用・就労環境づくり.....	24
4 基本目標4:安心して暮らせる地域づくり.....	30
第3章 推進体制・効果検証について.....	37
1 推進体制.....	38
2 効果検証の実施.....	39
参考資料.....	40

---

# 第1章 基本目標と全体構成



## 1 総合戦略のコンセプトおよび基本目標

## ■コンセプト

## 江南市の優位性

- 名古屋市都心部への高いアクセス性
- 歴史資源
- 身近な自然
- 木曾川下流域に比べ地盤が良い

名古屋市都心部への高いアクセス性や、木曾川下流域に比べ良い地盤と、豊かな自然環境を持つ江南市の地理的優位性を活かし、人口減少社会を見据えた都市的機能の集約や自然環境を活かしたレクリエーションの充実を図る。

また、企業誘致や市内企業の支援を中心に雇用の場、幅の拡大を目指し、女性や高齢者の社会参画を推進する。

併せて、今まで培ってきた地域連携をさらに強化し、市民、企業等、行政が協働し、地域全体による子どもや女性、高齢者等の支え合いを通して、安心して子どもを産み育てられ、世代間で歴史・文化の継承がされる社会を目指し、多世代がゆとりと生きがいを持って暮らせる生活都市の実現を目標とする。

このような理念のもと人口ビジョンにおける将来展望の実現に向けて、  
 ①子育て環境の充実を図り、出生率の向上による自然増の確保  
 ②Uターンや移住の促進や転出者の抑制による社会増減の均衡  
 により平成72年(2060年)において将来人口8万人程度の維持を目指すものとする。

全ての世代が互いに支え合う生活都市こうなん

～ 笑顔があふれ、健康で生きがいを持って暮らし続けられるまち ～

## ■基本目標

## 基本目標1：住みたいまち“江南”づくり

誰もが住みたい、住み続けたいと思える生活環境の充実を図るため、名古屋市都心部への高いアクセス性と緑や水辺などの良好な自然環境といった江南市の強みを活かし、都市的機能と自然環境がそれぞれ機能的に結びついたコンパクトシティ構想の実現を目指します。

## 基本目標2：子育てしやすい環境づくり

若い世代が安心して子育てができるよう、妊娠・出産から育児まで切れ目なく地域全体で子育てする環境の形成を目指すとともに、支援制度の充実や愛知江南短期大学との連携事業を推進し、子育てしやすい環境を目指します。

## 基本目標3：働き続けられる雇用・就労環境づくり

雇用の安定と創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致の推進や市内事業者への支援の充実を図ります。また、若い世代の就職機会の確保や女性、高齢者等が働き続けられる就労環境の創出を目指します。

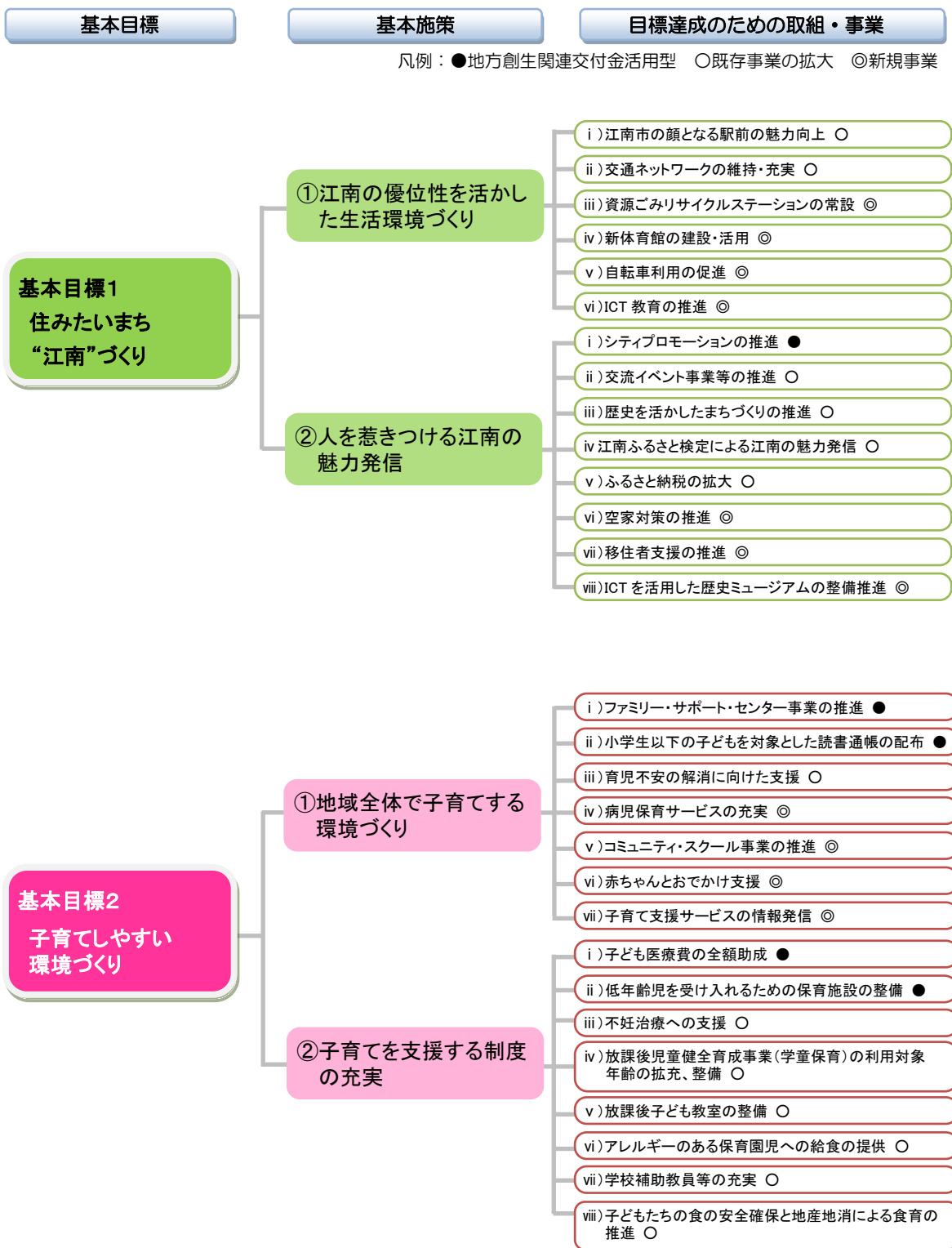
## 基本目標4：安心して暮らせる地域づくり

地域社会を構築する様々な団体や市民同士が共に助け合い、高齢者や外国人居住者等も安心して暮らせる地域づくりを目指します。

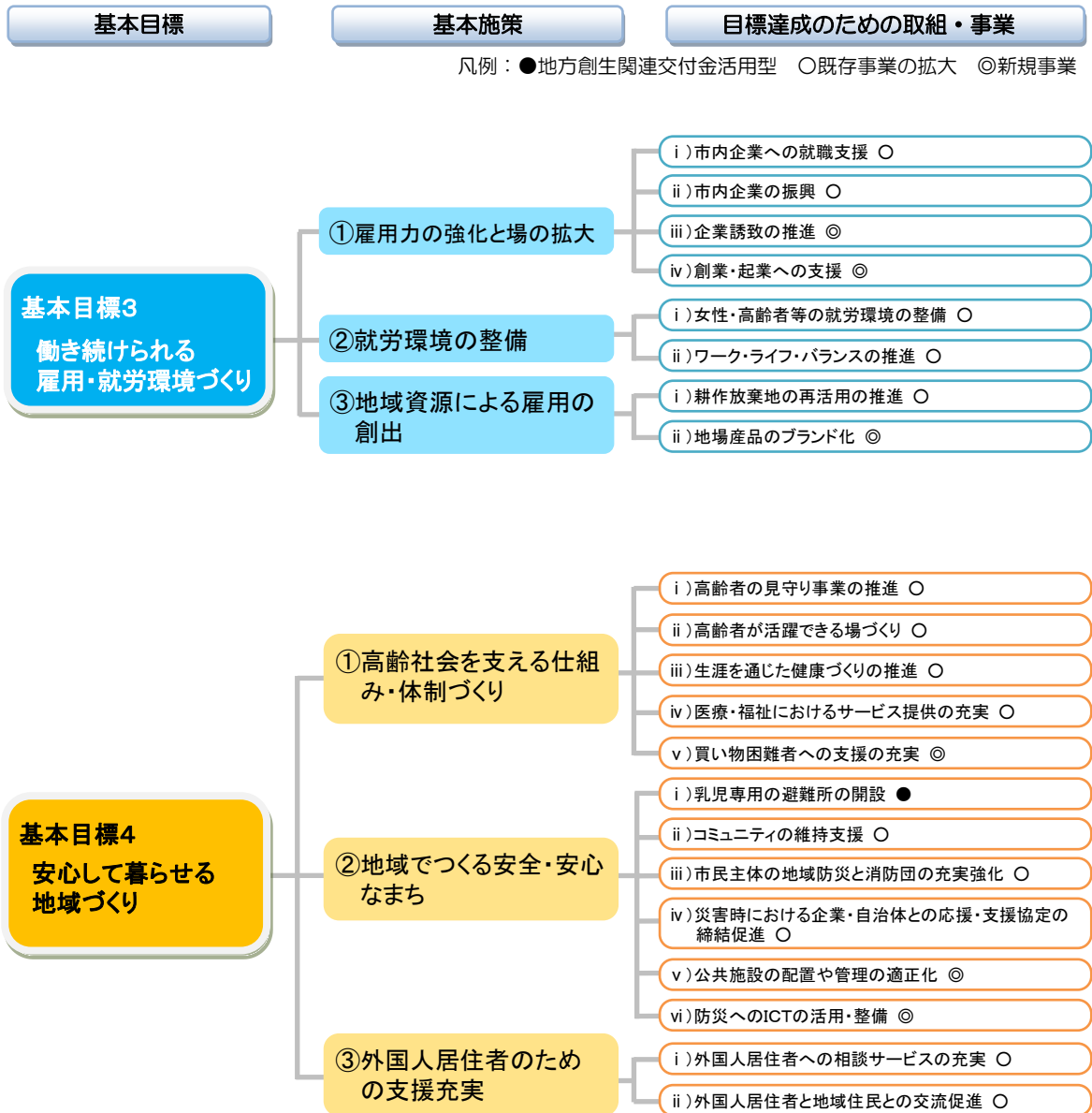


2 総合戦略の全体構成

全ての世代が互いに支え合う生活都市こうなん  
 笑顔があふれ、健康で生きがいを持って暮らし続けられるまち



凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業





## 第2章 目標達成のための取組とKPI



## 1 基本目標1:住みたいまち“江南”づくり

誰もが住みたい、住み続けたいと思える生活環境の充実を図るため、名古屋市都心部への高いアクセス性と緑や水辺などの良好な自然環境といった江南市の強みを活かし、都市的機能と自然環境がそれぞれ機能的に結びついたコンパクトシティ構想の実現を目指します。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
数値目標	転出者数	3,137 人	3,226 人	2,700 人
	転入者数	3,245 人	3,413 人	2,660 人
	交流人口	1,691,351 人	1,805,038 人	1,860,000 人

基本施策1-① 江南の優位性を活かした生活環境づくり

名古屋市都心部への高いアクセス性と水辺などの良好な自然環境を強みとした、若い世代が住んでみたいと思える生活環境づくりのため、江南市の顔となる駅前の魅力向上を始めとし、各地区の拠点づくりを検討するとともに、鉄道駅への公共交通や自転車によるアクセス性向上を図り、各地区間や鉄道駅とのネットワーク化など、コンパクトなまちづくりを推進します。また、ICTを活用し、子どもの思考力を育む教育環境や、多世代が交流できるスポーツ活動の場づくりなど魅力の向上に取り組めます。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	駅周辺の交流施設数	3箇所	3箇所	4箇所
	いこまいCARの 登録者数	6,443人	7,264人	8,000人
	資源ごみリサイクル ステーションの開場日数 (1週間あたり)	—	—	6日

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 江南市の顔となる駅前の魅力向上 ○

江南市の顔となる江南駅・布袋駅周辺の美しい駅前景観づくりに向けて、市民の協力のもと花や緑を増やす取組を積極的に行うことや、商業団体等事業費補助金の活用による空き店舗の利用促進等により、市民が愛着を持ち、気軽に集い憩える交流拠点の創出を図り、活性化・賑わいづくりを推進します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
花や緑を増やす取組	平成28年度は、街角を花で彩ることにより、ゆとりと潤いのある生活環境を形成するため、地元区をはじめとした団体に公共の場の植栽に協力していただいた。 平成29年度も引き続き実施する。	参加団体数	28団体
駅周辺の交流拠点の整備	平成32年以降の整備に向けて検討する。	駅周辺の交流施設数	3箇所

## ii) 交通ネットワークの維持・充実 ○

ドアツードアで円滑に移動できる、いこまいCARの予約便をはじめ、市民がより利用しやすいよう、市内公共交通網について、さらに見直しを行います。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
いこまいCARの利用促進に向けた取組	スターキャット「タウンインフォメーション」にてPRを実施した。 平成 28 年度は、広報こうなんに「いこまいCAR(予約便)Q&A」に関する情報を 10 回掲載した。 平成 29 年度についても、引き続き掲載する。	いこまいCARの登録者数	7,264 人
市内公共交通網の見直し	平成 28 年度に基礎調査を実施。 平成 29 年度は、個別要請を検討するほか、地域公共交通再編委員会と検討部会において、評価の仕組み、地域主体の公共交通施策について検討する。	平成 28 年度に基礎調査を実施	実施

## iii) 資源ごみリサイクルステーションの常設 ◎

資源ごみリサイクルステーションを常設化することで、資源ごみの搬出機会を増やし、稼働時間内は持込による受入可能な体制を整備することにより、生活利便性の向上と限りある資源の有効活用を図ります。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
資源ごみリサイクルステーションの常設	平成 28 年度は、平成 29 年度のリサイクルステーションの開設に向けて準備を実施した。 平成 29 年 6 月 1 日より開設した。	資源ごみリサイクルステーションの開場日数(1週間あたり)	—

## iv) 新体育館の建設・活用 ◎

気軽に健康づくりを楽しみ、多世代が交流できる新体育館を建設し、競技スポーツから生涯スポーツまで幅広い市民のスポーツ活動の振興を図るとともに、防災拠点として要求される性能、設備を確保することで、災害時の活動拠点として活用します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
新体育館の利用促進、及び防災拠点としての活用	平成 28 年度は、実施設計に基づき建設工事を実施した。 平成 29 年度も同様に継続して実施する。	利用者数、防災拠点としての訓練等の実施回数	—

## v) 自転車利用の促進 ◎

江南市の通勤通学の利便性向上のため、鉄道駅から離れた地域からのアクセス手段として、また、レクリエーションや健康づくりのため、安心して自転車が通行できる環境を構築し、自転車利用の促進を図ります。

自転車利用ルールの周知やマナー向上のための取組などのソフト面、関連する鉄道駅周辺の駐輪対策、自転車利用者が多いルートの安全対策および自転車通行環境整備などのハード面の双方から検討を行います。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
自転車利用のためのマナーアップ (広報・PR、講習会開催等)	平成 28 年度は、園児、児童、高齢者を対象に交通安全教室を開催し、江南警察署等と自転車利用者に対する啓発活動を行った。 平成 29 年度も引き続き実施する。	講習会等の開催回数	45 回
道路管理	平成 28 年度は、道路施設の修繕を実施した。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	道路修繕件数	518 件

## vi) ICT 教育の推進 ◎

小・中学校への ICT 教育の推進により、児童・生徒の能動的な学習への参加を促し、思考力や表現力、発表力などを育むため、タブレット端末の導入および Wi-Fi 環境の整備を図ります。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
市内小・中学校へのタブレット端末導入および Wi-Fi 環境整備	平成 28 年度は、導入に向けて検討した。 平成 29 年度は、小学校のパソコンの入れ替えの際にタブレットに切り替え、導入する。	タブレット端末を導入している公立学校の数	0 校



基本施策1-② 人を惹きつける江南の魅力発信

江南市の魅力である自然豊かな居住環境や、歴史資源、木曾川沿いのレクリエーション空間などを知ってもらい、若い世代に将来住んでみたいと感じてもらうため、シティプロモーションの方針や観光ビジョンを定め、各種地域資源を活用したイベントの開催等により、交流人口の増大や魅力度、知名度の向上に取り組めます。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	シティプロモーション ビデオの閲覧者数	—	7,010 人	7,500 人
	歴史を活かした イベントの参加者数	13,938 人	49,281 人	43,800 人
	ふるさと納税の納税者数	1,616 人	697 人	1,800 人
	マスコミ取り上げの件数	373 件	413 件	560 件

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) シティプロモーションの推進 ●

江南市の知名度向上を図るため、シティプロモーションビデオを作成し、インターネット上で公開するほか、江南市マスコットキャラクター「藤花ちゃん」によるPR、ホームページ、SNS(Facebook など)を充実させ、まちの魅力を発信していきます。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
知名度向上に向けた取組	平成 28 年度は、地方創生加速化交付金でシティプロモーションビデオを作成し、Youtube 等を通じて江南市の魅力を市内外に発信した。 平成 29 年度も引き続き情報発信を行う。	シティプロモーションビデオの閲覧者数	7,010 人
	平成 28 年度は、各課より市政に関する情報を収集し、ライブイベントを掲載した。また、分かりやすいホームページを目指し、レイアウト変更を行った、平成 29 年度も引き続き実施する。	市HP閲覧状況(ページビュー数)	490,801 件
	平成 28 年度は、市のイベントに関する情報発信と、各課から市政に関する情報を提供してもらい、Facebook の充実を図った。 平成 29 年度も引き続き実施する。	市 Facebook の閲覧状況(いいね数)	580 件
	平成 28 年度は、新聞社・テレビ局等へ行政情報を提供した。 平成 29 年度も引き続き実施する。	マスコミ取り上げの件数	413 件

ii) 交流イベント事業等の推進 ○

木曾川沿いの自然観察やサイクリング、フラワーパークでの憩い、市内の歴史探索、地酒や越津ねぎなど地元の美味しい“食”を堪能するほか、木曾川の恵みや自然を楽しむことができる各種イベントの開催等により地域の活性化や交流の場の創出を図ります。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
地域活性化・交流イベントへの参加	平成 28 年度は、観光事業を推進するため、観光資源の紹介、観光客の誘致宣伝及び観光事業振興のための助成を実施した。また、北野天神社筆まつり、江南市五条川桜祭り、江南藤まつり、あじさい祭り、江南市民サマーフェスタ、江南市民まつり、江南市民花火大会、コーナンスイーツフェスティバル、すいとぴあ江南菊まつりなどの行催事後援をするとともに協力した。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	愛知県観光利用者統計（江南市分）に関連するイベント等の参加者数	1,805,038 人
	平成 23 年度より、サイクリングロードの利用促進及び地域活性化のためにイベントを実施し、平成 28 年度も実施した。 平成 29 年度も引き続き実施する。	木曾川自転車散歩など地域活性化・交流イベントの参加者数	234 人

iii) 歴史を活かしたまちづくりの推進 ○

歴史をテーマとしたイベントを継続的に実施することで歴史を活かしたまちづくりを推進します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
歴史をテーマとしたイベント等の継続的な実施	平成 28 年度は、すいとぴあ江南のふるさと文化育成等事業において歴史をテーマとしたYUYUウォーキング（音楽寺コース）、歴史講座などを実施。江南藤まつり武将行列、布袋ぶらりん日和に参加。また、ワールドサムライサミット2016に参加し、甲冑着付体験などを実施した。 平成 29 年度も引き続き実施する。	すいとぴあふるさと文化育成等事業の参加者数	38,552 人
	平成 23 年度より、布袋駅西地区に残る歴史ある建物や街並みを「地域資源」ととらえ、これらを活かしたまちあるきを地元まちづくり団体が主体となって開催し、平成 28 年度も実施した。 平成 29 年度も、引き続き実施する。（平成 29 年 11 月 5 日開催予定）	布袋ぶらりん日和事業の参加者数	1,384 人
	平成 28 年度は、歴史民俗資料館の企画展、中学生歴史教室、教養講座などの歴史文化をテーマとした講座等を開催した。 平成 29 年度も引き続き実施する。	文化財普及事業への参加者数	9,345 人

iv) 江南ふるさと検定による江南の魅力発信 ○

江南商工会議所が実施している「江南ふるさと検定」のPRとともに、江南の歴史・文化を伝えるホームページの充実・PRを図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
江南ふるさと検定の普及・PR	平成28年度は、第3回「江南ふるさと検定」を後援し、ポスターの掲示、広報への掲載、イベントメールの配信を実施した。 平成29年度も、引き続き実施する。	ふるさと検定受験者数	29名
江南の歴史・文化のPR	平成28年度は、藤まつりや各種イベント情報を広報・ホームページへ掲載しPRを行った。 平成29年度も、引き続き実施する。 平成28年度は、市のホームページに歴史や文化財を紹介し、PRを図った。 平成29年度は、より充実した内容にてPRしていく。	江南の歴史・文化に関するホームページの閲覧者数	23,758人

v) ふるさと納税の拡大 ○

ふるさと納税のPRをシティプロモーションと関連づけ推進するとともに、クラウドファンディングにより、具体的な事業を示し、支援を募ることで、江南市の出身者や江南市を応援したい人等から寄附を受け、事業に必要な財源を確保することに努めます。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
ふるさと納税のPR	平成28年度より市内在住者も対象とし、広報・ホームページとあわせて新聞への掲載により、積極的にPRを行った。 平成29年度も引き続き実施する。	ふるさと納税の納税者数	697人
人口ビジョン実現に向けた各種事業への出資等の応援	平成28年度より地方創生総合戦略に関する事業への寄附の項目を設け、人口ビジョンの実現に向けた事業へ充当した。 平成29年度も引き続き寄附を受け付ける。	クラウドファンディングによる寄附額	395,000円

vi) 空家対策の推進 ◎

空家等の実態調査を行の結果を踏まえ、空家等対策計画を策定し、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
空家等対策計画の策定	平成28年度は、空家等対策計画の基礎となる空家等実態調査を行った。 平成29年度は、空家等対策計画を策定する。	平成29年度中に空家等対策計画を策定	—

## vii) 移住者支援の推進 ◎

移住・定住事業として、空家の流動化を促すため、金融機関と協調・連携し、中古住宅等に対する住宅ローンの優遇や拡充などを検討します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
移住者支援の取組	平成28年度は、総務省の「全国移住ナビ」へシティプロモーション動画を投稿し、市の魅力を発信した。 平成29年度は、引き続き情報発信する。	平成29年度までに空家等対策計画の策定	—

## viii) ICTを活用した歴史ミュージアムの整備推進 ◎

地域の歴史資源の紹介やルート案内、資料館の展示など、ICTを活用することで、より江南市の魅力を見る、知る、楽しむことができるバーチャル環境を整備します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
歴史に関するICT環境整備等に向けた検討	平成28年度は、実施なし。 平成29年度は、実施予定なし。	ICTを活用した歴史ミュージアム整備に関する検討	—

## 2 基本目標2:子育てしやすい環境づくり

若い世代が安心して子育てができるよう、妊娠・出産から育児まで切れ目なく地域全体で子育てする環境の形成を目指すとともに、支援制度の充実や愛知江南短期大学との連携事業を推進し、子育てしやすい環境を目指します。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
数値目標	1,000人あたりの出生数	7.9	7.1	8.5

### 基本施策2-① 地域全体で子育てする環境づくり

若い世代が安心して子育てができるよう、妊娠・出産から育児まで切れ目のない支援サービスや、様々な子育て支援サービスに関する積極的な情報発信、市民相互での援助などによる地域全体で子育てする環境づくりに取り組めます。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	ファミリー・サポート・センター事業の援助者数	109人	97人	120人
	子育て支援センターの利用者数	13,178組	20,474組	25,000組
	コミュニティ・スクール事業を実施している公立小中学校の数	—	0校	15校

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) ファミリー・サポート・センター事業の推進 ●

仕事と子育て等の両立ができる環境整備のため、市民の相互援助活動によるファミリー・サポート・センター事業の充実を目指し、啓発活動等を推進することで、事業の周知と援助会員の増加を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
ファミリー・サポート・センター事業の利用促進	平成28年度はポスターによるPRのほか、会員の交流会、講習会を行い、周知に努めた。 平成29年度はポスターを作り直し、ほほえみ広場、検診時等にもPRを実施する。	ファミリー・サポート・センター事業の援助者数	97人
一時預かり事業の利用促進	平成28年度は、宮田東保育園と中央保育園の2園で実施した。 平成29年度も引き続き実施する。	一時預かり事業利用者数	2,942件

ii) 小学生以下の子どもを対象とした読書通帳の配布 ●

読書通帳を配布し、楽しみながら幼少期から読書習慣を身に付けてもらうことで、人間性豊かな人づくりを目指します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
小学生以下の読書習慣の定着	平成28年度は、市内在住・在学・在園の小学生以下の子どもを対象として、「ふじかちゃんこども読書通帳」を配布した。 平成29年度も、引き続き実施する。	読書通帳配布数	1,710冊

iii) 育児不安の解消に向けた支援 ○

安心して子育てができるよう子育て支援センターの活用ニーズに合わせた機能拡充、施設増強を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
子育て支援センターの利用促進	平成28年度は、市内3か所でサロンを開設した。 平成29年度も、引き続き実施する。	子育て支援センターの利用者数	20,474組

iv) 病児保育サービスの充実 ◎

市民からのニーズが高い病児、病後児保育の実施に向け、保育を行うための研修の実施や人材の確保などのソフト面と、保育を行う施設の確保などのハード面の必要な整備を実施します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
病児保育サービスの利用状況	平成28年度は、平成27年度に開催した病児・病後児保育研修会を受講したファミリー・サポート・センター事業の援助会員が、病後児の援助活動を実施した。 平成29年度も、引き続き実施する。	病児保育サービス利用者数	8人

v) コミュニティ・スクール事業の推進 ◎

子どもの教育の充実のために、コミュニティ・スクール事業を推進し、地域と一体となり、教育力の向上を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
コミュニティスクール事業の導入状況	平成28年度は、平成30年度の導入を目指し3校で研究した。 平成29年度は、古知野西小学校、西部中学校で導入予定。平成31年度の市内公立小中学校の全校導入を目指し、準備を進める。	コミュニティスクール事業を実施している公立小中学校の数	—

vi) 赤ちゃんとおでかけ支援 ◎

公共施設や民間企業の協力により、郵便局や銀行、スーパーマーケット等の不特定多数が集まる場所で、ベビーカーで入れる店舗や、授乳やおむつ替えができる施設の情報発信を行っていくなど、乳幼児と親が外出しやすい環境整備を推進します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
赤ちゃんとお出かけ支援への環境整備	平成28年度は、簡易テントと簡易ベッドを合わせた移動式授乳室について、導入に向けた検討を行った。 平成29年度に貸出用移動式授乳室の整備を行う。	情報提供に参加協力している事業者数	—

vii) 子育て支援サービスの情報発信 ◎

子育て支援サービスの活用促進に向け、ICTの活用や民間などの協力により、ニーズに合わせた積極的な情報提供を行います。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
子育て支援サービスの情報発信	平成28年度は、子育て支援情報誌を公共施設等で配布した。また、民生児童委員の会議でも配布し、情報発信を実施した。 平成29年度も、引き続き情報発信する。	情報提供内容の検討	3,000部



基本施策2-② 子育てを支援する制度の充実

若い世代が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、子育てに関する経済的負担の軽減や共働きしやすく、安心して子どもを預けることができるよう、学童保育や放課後子ども教室の整備など、制度の充実に取り組みます。

重要業績 評価指標 (KPI)	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
	保育園入園待機児童数	0人	0人	0人
	放課後児童健全育成事業 (学童保育)の定員	468人	626人	816人
	放課後子ども教室の 教室数	4室	6室	7室

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 子ども医療費の全額助成 ●

中学生までの医療費を全額助成し、子育て世代の費用負担の軽減を図ることにより、子育てしやすい環境づくりと子どもの健康保持に努めます。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
中学生までの子ども 医療費の全額助成	平成28年4月診療分より中学生までの子ども 医療費の全額助成を実施した。 平成29年度も引き続き実施する。	—	実施

ii) 低年齢児を受け入れるための保育施設の整備 ●

核家族化や就労形態の多様化などの家庭環境の変化に伴い、増加している低年齢児の保育需要に対応するため、専用保育室を保育園に整備します。また、低年齢児保育の質の向上を目指し研修会等を実施します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
低年齢児を受け入れるための保育施設の整備	平成28年度は、藤里保育園、草井保育園、宮田保育園、古知野東保育園、布袋東保育園、古知野中保育園の保育室等を改修し、低年齢児が利用する部屋として整備を実施した。 平成29年度は、小鹿保育園、古知野北保育園、布袋保育園において保育室の改修、整備を実施する。	低年齢児専用保育室利用者数	540名
低年齢児保育を行う職員向けの研修実施	平成28年度は、低年齢児担当保育士向けの研修を実施した。 平成29年度も引き続き実施する。	低年齢児保育関連研修会参加者数	36名

iii) 不妊治療への支援 ○

子どもを望みながら、子どもが授からない夫婦に対し、不妊治療費の一部を助成するとともに、不妊相談窓口の周知に取り組みます。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
不妊治療への支援	平成28年度は、人工授精に要した自己負担額の一部を助成した。 平成29年度も、引き続き実施する。	一般不妊治療費助成事業申請者(人工授精のみ)の組数	36組
不妊相談窓口の周知	平成28年度は、案内ちらしを市役所・保健センターの窓口に据置くとともに、ホームページにて相談窓口の案内記事を掲載した。 平成29年度も、平成28年度と同様の取り組みを実施する。	不妊相談のPR回数	随時

iv) 放課後児童健全育成事業(学童保育)の利用対象年齢の拡充、整備 ○

仕事と子育てが両立できる環境を構築するため、当面、利用対象年齢を小学4年生までに拡大し、利用希望者が入所できるよう必要な施設整備を行います。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
学童保育の利用対象年齢の拡充	平成28年度は、前年度に建設した門弟山小学校学童室の運用を開始した。 また、古知野東小学校学童室、古知野南学童保育所、布袋学童保育所を建設した。 平成29年度よりそれらの運用を開始し、全区で小学4年生まで受け入れる。	放課後児童健全育成事業(学童保育)の定員	626人

v) 放課後子ども教室の整備 ○

児童の安全・安心な放課後の居場所が求められていることから、放課後子ども教室の増設を順次進めます。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
小学生の放課後の安全な居場所づくり	平成28年度は、門弟山小学校に放課後子ども教室を開設した。 平成29年度は、古知野東小学校に放課後子ども教室を開設する	放課後子ども教室の教室数	6室

vi) アレルギーのある保育園児への給食の提供 ○

保育園でアレルギーを持つ子どもが安心して給食を食べられるよう、調理員の増員を図るなど、きめ細やかな対応をするため、体制の整備に努めます。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
保育園でアレルギーを持つ子どもが安心して給食を食べられる取組	平成28年度は、食物アレルギーのある子どもがいる保育園に、アレルギー食担当の調理員を配置し、誤配、誤食を起こさないよう体制を整備した。 平成29年度もアレルギー食担当の調理員を引き続き配置し、誤配、誤食を防止する。	アレルギー除去食担当の調理員配置数	8園

vii) 学校補助教員等の充実 ○

学校での授業が円滑に行えるよう、学校補助教員を適切に配置します。また、子どもが安心して学校生活が送れるよう養護教諭、特別支援学級等支援職員、図書館司書、心の教室相談員などを適切に配置します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
他市より優れた学校教育の実現に向けた取組	平成28年度から特別支援学級等支援職員2名、図書館司書1名を増員した。 平成29年度よりスクールソーシャルワーカーを2名設置した。	学校補助教員等の配置数	68人

viii) 子どもたちの食の安全確保と地産地消による食育の推進 ○

子どもたちの給食に地元食材の使用を推進し、食の安全を確保するとともに、保育園での野菜づくり・おやつづくり体験や、学校給食での郷土料理の提供など、地域の食文化に触れる機会を通して、郷土の特産品を学び、郷土料理の伝承や郷土愛の醸成を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
郷土学習、食育の推進に向けた取組	平成28年度に引き続き、地元の食材を使用した献立や郷土料理を提供する。 平成29年度も、引き続き実施する。	県内産の食材使用率	35.2%
	平成28年度は、食育の一環として保育園で栽培した野菜や果物を給食、おやつで提供した。 平成29年度も、引き続き保育園で栽培した野菜や果物を給食、おやつで提供し、子ども達の食への関心を高めていく。	自園栽培食材を使用した給食等の実施回数	490回

### 3 基本目標3:働き続けられる雇用・就労環境づくり

雇用の安定と創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致の推進や市内事業者への支援の充実を図ります。また、若い世代の就職機会の確保や女性、高齢者等が働き続けられる就労環境の創出を目指します。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
数値目標	市内就業者数	33,215人	—	33,500人
	新規就農者数(累計)	2人	3人	4人

#### 基本施策3-① 雇用力の強化と場の拡大

雇用の安定と創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致の推進による雇用力の強化や、市内企業の流出防止のための設備投資に対する補助やリフォーム助成等の支援、市内企業への就職相談の開催、企業情報の提供等による雇用の場の拡大に、商工会議所、地域金融機関と連携して取り組みます。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	就職相談により 就職が決定した件数	570件	456件	750件
	企業誘致等により立 地した企業数(累計)	—	0社	3社

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 市内企業への就職支援 ○

若者を中心とした就職相談の開催や、就職希望者への企業情報の提供などをおして、市内企業の人材確保を支援します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
就職希望者と市内企業への支援	平成 28 年度は、ハローワーク犬山と連携し「江南市地域職業相談室」の継続開設、相談室の嘱託員も継続配置し、引き続き窓口の充実に努めた。また、県と連携し学生及び若年求職者のための就職相談の継続実施やいちのみや若者サポートステーションの運営団体と連携し学生及び若年求職者のための就職相談も継続して実施した。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	就職相談により就職が決定した件数	456 件

ii) 市内企業の振興 ○

市内企業の経済活動の推進や企業等の流出防止、雇用の維持を図るため、市内に長年立地する事業者が行う設備投資に対する補助やリフォーム助成等の支援を行います。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
市内企業への支援	平成 28 年度は、商工会議所、金融機関とも連携し、「企業再投資促進補助金」、「中小企業再投資促進奨励金」等のPRに努めた。また、6 件の事業を認定した。 平成 29 年度は、認定事業者に補助金等を交付するとともに、引き続きPRを行う。	市内企業向け助成の利用件数	0 件

iii) 企業誘致の推進 ◎

地域経済の活性化を図るとともに、市民の安定した雇用が創出できるよう、企業誘致推進のための基本方針を策定し、企業誘致を推進します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
企業誘致等への取組	平成 27 年度に策定した「企業誘致等基本方針」に従い、平成 28 年度は、企業訪問等による優良区域のPR、対象区域の地権者への個別訪問、企業へのワンストップ窓口として伴走型の支援などを実施した。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	企業誘致等により立地した企業数(累計)	0 件

## iv) 創業・起業への支援 ◎

創業・起業の意欲のある人に対し、より効果的な支援を行うため、商工会議所をはじめとする関係機関との連携のもと、創業支援事業計画を策定します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
創業・起業支援への取組	<p>平成28年度は、国から創業支援事業計画の認定を受けたことから、これに基づき近隣市町や近隣商工会議所、商工会と共催で創業入門セミナーを開催した。また、江南商工会議所と連携し、ワンストップ相談窓口を設置した。</p> <p>平成29年度は、創業支援事業計画をさらに充実したものに変更し、認定を受け、それに基づく支援を実施する。</p>	創業・起業支援により創業・起業した会社数	4社

基本施策3-② 就労環境の整備

若い世代の就職機会の拡大や女性や高齢者が働き続けられる就労環境づくりのため、企業への啓発や就労支援を行うとともに、市内企業にワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備に取り組んでもらうための支援を行います。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	市内の愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度 <sup>(※1)</sup> への加入企業数	10社	12社	20社

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 女性・高齢者等の就労環境の整備 ○

子どもを持つ女性が継続して働ける環境づくりや高齢者、障害のある人などの雇用機会を創出し、社会参画できる場を増やすよう、企業への啓発や就労支援を推進します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
女性の就職希望者と市内企業への支援	平成28年度は、ハローワーク犬山と連携し「江南市地域職業相談室」の継続開設、相談室の嘱託員も継続配置し窓口の充実に努めた。また、県と連携し学生及び若年求職者のための就職相談の実施やいちのみや若者サポートステーションの運営団体と連携し学生及び若年求職者のための就職相談を実施した。 平成29年度も、引き続き実施する。	江南ワーキングステーションの相談者数	717人
高齢者雇用機会の創出に向けた支援	平成28年度は、高齢者就労機会確保事業に要する経費に対し補助金を交付した。また、シルバー人材センターの会員募集を広報にて行った。 平成29年度も、引き続き実施する。	シルバー人材センターの登録者数	329人
障がい者雇用の実施	平成28年度は、就労継続支援等の事業所が新設された際、積極的に周知を行うなど就労の場とした。 平成29年度も引き続き実施する。	障害者の雇用率	1.69%
子育て中でも働ける企業・就労環境の実現に向けた支援	平成28年度は、パンフレットやチラシ等の配布を通じて、女性が安心して働ける環境づくりに向けた情報提供を行った。 平成29年度も引き続き実施する。	就業の機会均等に関する啓発回数	2回



ii) ワーク・ライフ・バランス<sup>(※2)</sup>の推進 ○

子どもを持ちながら働く人が、職業生活と家庭生活、地域活動等との調和が図られた暮らしを送ることができるよう、地域や企業における環境づくりを促すとともに、その両立を支援できるよう、啓発活動を推進します。

管理項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
市内企業のワーク・ライフ・バランスへの取組	平成 28 年度は、仕事と生活の調和をめざすワーク・ライフ・バランスの推進、育児等を積極的に行う男性(イクメン)の普及、出産・育児等で離職した女性の再就職の支援等、厚生労働省、都道府県労働局、労働基準監督署及び愛知県産業労働部労政局が作成するリーフレットやポスター等を市役所及び商工会議所の窓口を設置するとともに、必要に応じて広報や会議所ニュースに、その内容を掲載するなど周知、啓発に努めた。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	・市内の愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度への加入企業数 ・市内企業への啓発活動回数	12 社 20 回

※1 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度

ファミリー・フレンドリー企業とは、仕事と育児・介護・地域活動など仕事以外の活動を両立できるよう積極的に取り組む企業のことをいいます。愛知県では、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度」を通して、従業員のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む企業を応援し、男女がともに働きやすい職場環境づくりを進めています。

※2 ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、働く人が仕事上の責任を果たしつつ「仕事」と家事・育児・介護、地域活動やボランティア活動、趣味や学習などのあらゆる個人的活動を含む「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態をいいます。

基本施策3-③ 地域資源による雇用の創出

地域資源である農地に耕作放棄地があることから、これら農地の有効活用による6次産業化や、産直市場の開設、地場産品のブランド化により農業振興を図るなど、雇用の創出に取り組みます。

重要業績 評価指標 (KPI)	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
	耕作放棄地の面積	198ha	211ha	190ha

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 耕作放棄地の再活用の推進 ○

耕作放棄地を有効利用し、新規就農の促進を図るとともに、地元の野菜等を販売する産直施設の開設のほか、地場産品を用いた加工食品や土産物の開発、販売を行うなどの6次産業化に向けた支援を行います。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
耕作放棄地の有効利用に向けた取組	平成28年度は利用意向調査により、中間管理機構を通じた貸し借りを希望した方に対し、斡旋を実施した。 平成29年度は、中間管理機構への斡旋に加えて人・農地プランの座談会でも斡旋し、耕作放棄地の解消を図る。	耕作放棄地の面積	211ha
新規就農者への支援	平成28年度は県の青年就農給付金制度を活用し、新規就農者を1人確保することができた。 平成29年度も引き続き実施する。	新規就農者数	3人

ii) 地場産品のブランド化 ◎

地域の特産品を地域のブランドとして広くPRすることで、生産量と販路の拡大や雇用の創出を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
江南市特産品の知名度向上に関する取組	平成28年度は第45回農業まつり「市民農産物秋の収穫祭」を実施した。 平成29年度も引き続き実施する。	農業まつりでの出品点数	1,159点

## 4 基本目標4:安心して暮らせる地域づくり

地域社会を構築する様々な団体や市民同士が共に助け合い、高齢者や外国人居住者等も安心して暮らせる地域づくりを目指します。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
数値目標	要介護認定者数の増加率 (対前年比)	4.6%	1.1%	3.5%
	市内の犯罪発生件数	960 件	819 件	910 件

### 基本施策4-① 高齢社会を支える仕組み・体制づくり

高齢者が安心して、健康的に、生きがいを感じながら暮らせる地域づくりのため、地域の健康な高齢者が高齢者支援や次世代を担う子どもへの郷土学習の教え手になるなど、高齢者が参加し、地域を支える仕組み・体制づくりに取り組みます。

	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	高齢者の見守り事業 に協力する団体数	55 団体	58 団体	60 団体
	こうなん健康マイレージ事業の参加者数	—	269 人	1,000 人

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 高齢者の見守り事業の推進 ○

高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域住民、地域団体、事業所等の協力による交流活動や見守りを行うほか、高齢者家庭への緊急通報装置の設置を進めるなど、高齢者が地域で安心して生活ができる体制の強化、推進を図ります。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
高齢者の見守りに関する取組	平成 28 年度は、新たに 3 事業者と高齢者地域見守り協定を締結し、また協定事業者連絡会を開催し、情報の共有と周知を行った。 平成 29 年度も、新たな協定締結に努める。	高齢者の見守り事業に協力する団体数	58 団体

ii) 高齢者が活躍できる場づくり ○

次世代を担う子どもや江南市への来訪者に、江南にまつわる歴史・文化・産業などを教えるなど、高齢者が生きがいをもって取り組むことができ、かつ、子どもの見守りや郷土学習、他地域との文化交流などにつなげていく取組を推進します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
高齢者の活躍の場づくり	平成 28 年度は、NPO・ボランティアガイドやホームページを活用し、広く情報提供を行った。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	高齢者の生きがいづくりを推進するNPOボランティア団体数	6 団体
	平成 28 年度は、60 歳以上の市民を対象に、市内 5 地区で高齢者教室を開催した。 平成 29 年度も、引き続き実施する。	高齢者教室受講者数	9,230 人

iii) 生涯を通じた健康づくりの推進 ○

運動教室や生涯スポーツなどの日々の運動や食事、健康診断の受診など、高齢者の健康づくりへの関心を高めるための支援を行います。また、ボランティア活動なども健康づくりの一環と捉え、特典を受けられる「こうなん健康マイレージ事業」を展開します。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
こうなん健康マイレージ事業の普及	平成28年度は、江南市在住の18歳以上を対象に、5月から1月で実施した。 平成29年度は、対象を江南市在住・在勤・在学として、5月から通年事業として実施する。	こうなん健康マイレージ事業の参加者数	269人

iv) 医療・福祉におけるサービス提供の充実 ○

医師会と江南市や近隣市町などとの連携を進め、地域医療や福祉サービスの充実を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
在宅医療・在宅介護連携の取組	平成28年度は、ワーキンググループを立ち上げ、専門職の情報交換・連携等を進めた。 平成29年度は、専門職の交流会を開催し、連携を深めていく。	在宅医療部会等の開催回数	4回

v) 買い物困難者への支援の充実 ◎

高齢者の単身世帯などを対象とした給食サービスの充実や商業施設が遠方にある住民を対象とした移動販売車などによる買い物サービスについて検討を進めます。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
給食サービスの支援	平成28年度は、ひとり暮らし等の見守りが必要な高齢者に配食サービスを提供した。 平成29年度から、総合事業の中で実施することで、地域包括支援センターの利用者支援につなげていく。	給食サービスの配食数	61,412食
買い物困難者への支援	平成28年度は、高齢者生きがい課にて実施した一般高齢者へのアンケートの買い物支援に関する項目により調査を実施した。 平成29年度は、この調査結果から検討を進める。	移動販売車の利用者数	—

基本施策4-② 地域でつくる安全・安心なまち

自主防災活動や防犯パトロールなど地域住民の活動が継続できるようコミュニティの維持支援を行うとともに、災害時の乳児専用の避難所の開設やICTを活用した防災情報の提供、避難行動要支援者の円滑な避難誘導體制の構築など、安全・安心なまちづくりに向けて取り組みます。

重要業績 評価指標 (KPI)	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
	地域コミュニティ団体数	493 団体	502 団体	566 団体
	消防団員の応急手当 普及員認定者数	11 人	21 人	26 人
	災害時における企業・ 自治体との応援・支援 協定数	39 件	44 件	44 件

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 乳児専用の避難所の開設 ●

愛知江南短期大学内に開設した子育て支援センターを活用し、乳児とその保護者専用の避難所を設置します。飲料水やアルファ米などの備蓄品に加え、粉ミルク、紙おむつなど乳児が避難した場合に必要な備蓄品を整備します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指 標	H28 実績
乳幼児避難所の 周知に関する取組	ポスターを愛知江南短期大学や保育園や児童館等施設に掲示し、周知を行い、平成 28 年度は、各自主防災会にポスターを配布し、掲示を依頼した。 平成 29 年度も、引き続き啓発する。	周知計画の 検討、及び周 知	69 自主防 災会にポス ターを配布

ii) コミュニティの維持支援 ○

自治会や子ども会、防犯パトロール活動などの地域活動の維持を図るため、例えば、祭りの実行組織を若手にまかせる、地域で活動するNPO 団体等の協力体制を構築するなど、先進事例を参考に、地域コミュニティ活性化に向けた市民の主体的な取組の支援を行います。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
地域コミュニティ活性化に向けた支援	平成 28 年度は、地域安全パトロール隊の新規設立はなかった。また、市老人クラブ連合会及び地区の老人クラブに対して、その活動や構成人数に応じて補助金を交付した。子ども会活動に対して補助金を交付した。区・町内会に対して協働のまちづくり協力金を交付した。 平成 29 年度も、引き続き地域安全パトロール隊新規設立を支援していくとともに、各種補助金を交付する。	地域コミュニティ団体数	502 団体

iii) 市民主体の地域防災と消防団の充実強化 ○

自主防災会を中心に、自主防災活動が活発に行われるよう、防災リーダーの講習会など人材育成・確保の取組を継続していきます。また、消防団への女性や大学生等の入団を促進するとともに、消防団員の技術の向上に努め、消防団の充実強化を図るなど、互いが連携し活動できる体制を整備することで、地域防災の充実に努めます。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
市民主体の地域防災と消防団の充実強化に関する取組	平成 29 年 2 月に江南市ボランティアコーディネーター養成講座を実施した。 平成 29 年度も引き続き実施し、ボランティアコーディネーターの人員増加を図る。	ボランティアコーディネーター数	66 人
	平成 28 年度は消防団員から 4 名応急手当普及員講習を受講した。 平成 29 年度も引き続き実施し、認定者による自主防災訓練時の活躍を期待している。	消防団員の応急手当普及員認定者数	21 人

iv) 災害時における企業・自治体との応援・支援協定の締結促進 ○

事業者(民間企業)、団体、他の行政機関等と、大規模災害時における応援・支援協定の締結を進めることで、連携強化を図り、災害時に備えます。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
災害時における企業・自治体との応援・支援体制構築に関する取組	平成 28 年度は、行政書士会、コカ・コーラ、ゼンリン、愛知県西尾張九市ブロックの 4 件の災害時の応援協定を終結した。 平成 29 年度も引き続き、協定を終結する。	災害時における企業・自治体との応援・支援協定数	44 件

v) 公共施設の配置や管理の適正化 ◎

本市の規模に合った公共施設の配置や管理の適正化を進めることで、効率的な行政運営を図ります。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
公共施設マネジメントの取組	平成 28 年度は、前年度策定した公共施設等総合管理計画における基本的な方針に従い、個々の施設の適正化方策を定める公共施設再配置計画を策定するため、外部有識者の意見を聞きながら、公共施設の実態・配置状況の分析、評価基準を設定した。 平成 29 年度は、引き続き検討委員会を開催しながら、市民アンケート、ワークショップやシンポジウム、パブリックコメントを実施し、市民の意見を集約・反映し、計画の策定を完了する。	公共施設等総合管理計画等の策定及び実施	公共施設再配置計画策定(実態・配置状況分析、評価基準設定)

vi) 防災への ICT の活用・整備 ◎

ICT を活用し、スマートフォンなどで防災に関する情報入手を可能とするほか、避難行動要支援者の情報を関係者で共有することで円滑な避難誘導ができる体制の構築を目指します。

項目	平成 28 年度実施事業 平成 29 年度実施予定	指標	H28 実績
ICT 活用による防災への取組	平成 28 年度は防災に関するアプリの運用開始に向けて開発した。 平成 29 年 4 月より「あんしん・安全ねっとメール」と連携したアプリを運用開始。	H32 年度までに防災に関するアプリを開発	H29 運用開始のために開発
避難行動要支援者名簿登録制度の取組	平成 28 年度は、8 月末と 2 月末に内容の更新を行い、災害発生時に備え、区長、町総代、民生委員等に情報提供を行った。 平成 29 年度は、5 月末と 11 月末に更新を行い、広報への掲載により、引き続き制度の周知を図る。	避難行動要支援者名簿の登録件数	745 件



基本施策4-③ 外国人居住者のための支援充実

外国人居住者も安心して暮らせる地域づくりのため、言葉や子育て、子どもの進路相談など、地域に住み続けていくための様々な相談サービスの充実に取り組みます。また、地域住民との交流を深めるため、交流の場や機会の創出などに取り組みます。

重要業績 評価指標 (KPI)	項目	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
	多文化共生事業への参加者数	6,470人	6,784人	7,000人

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生関連交付金活用型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 外国人居住者への相談サービスの充実 ○

国際交流協会と連携し、外国人居住者のための言葉や子育て、子どもの進路等に係る相談サービスの充実を図ります。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
外国人居住者への相談サービスの実施	平成28年度は、就学を希望する外国人居住者に対し、相談サービスを随時実施した。 平成29年度も、引き続き実施する。	就学を希望する外国人居住者の就学率	100%
	平成28年度は、国際交流協会に外国人生活支援員の設置を委託した。 平成29年度も、引き続き委託する。	国際交流協会の生活相談の相談者数	249人

ii) 外国人居住者と地域住民との交流促進 ○

日常的な交流を図り互いの理解を深めるため、国際交流協会などによる交流事業を定期的で開催し、地域住民同士が支え合える環境づくりに向けた支援を行います。

項目	平成28年度実施事業 平成29年度実施予定	指標	H28実績
外国人居住者と地域住民との交流促進に関する取組	平成28年度は、国際交流協会主催で国際交流フェスティバルやクッキング教室などを開催した。 平成29年度も、定期的に各種イベントを開催する。	多文化共生事業への参加者数	6,784人

## 第3章 推進体制・効果検証について



## 1 推進体制

総合戦略で掲げた施策を着実に実施していくために、行政、市民、関係団体、民間事業者等で連携を図るための推進体制として、内部組織の江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部と、外部組織として関係団体等で組織する「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会」を設置し、総合戦略の推進に向けた取組・事業の進捗管理や効果検証を実施していきます。

### 【内部組織】

設 置：「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」(継続)

目 的：総合戦略の施策および取組・事業の評価、取組・事業内容等の改善検討

### 【外部組織】

設 置：「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会」(継続)

目 的：総合戦略の施策、取組・事業の進捗状況確認、改善内容の確認・承認

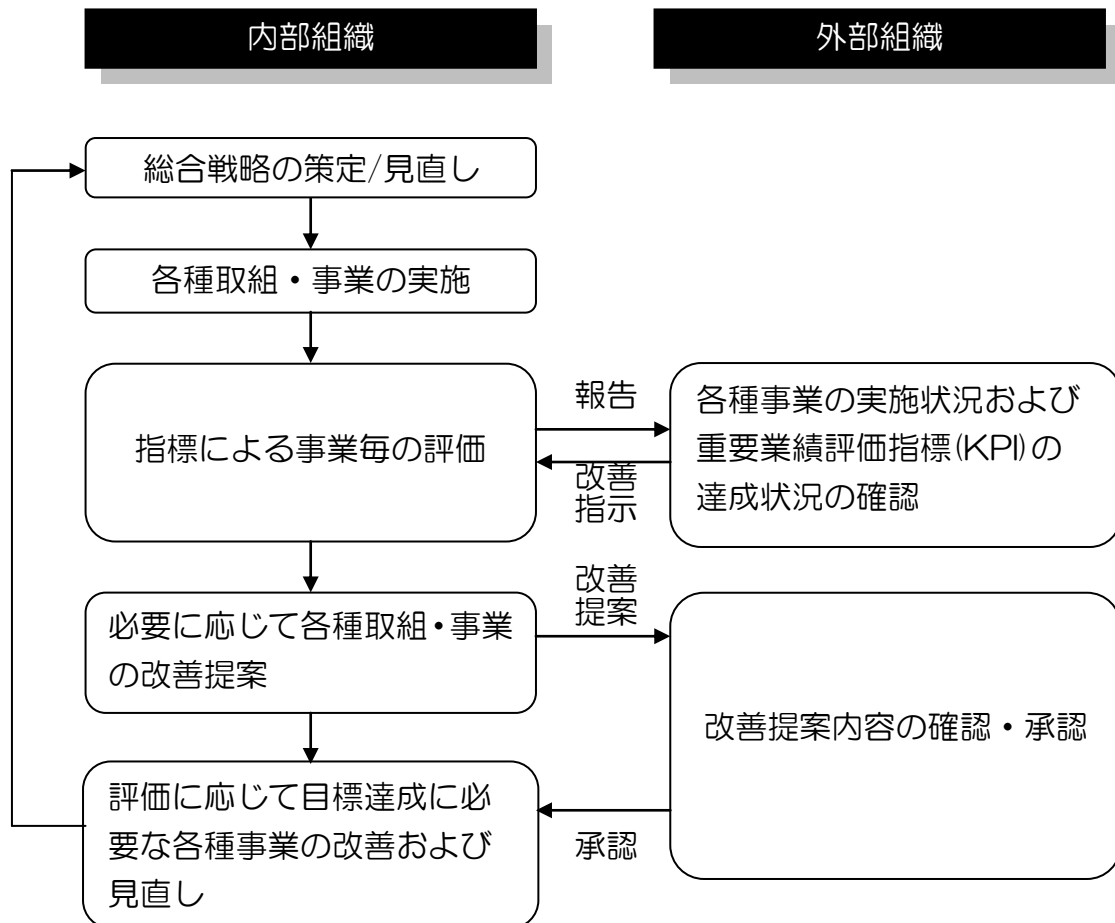


## 2 効果検証の実施

総合戦略の進捗管理は、外部組織による評価と各施策の庁内担当課による内部評価によるものとします。なお、PDCA サイクルによる効果検証を行い、必要に応じて、見直しを行っていきます。



### ◆効果検証の仕組み



# 1. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部設置要綱

## (設置)

第1条 まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条第1項に規定する市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)の策定及び推進にあたり全庁的に取り組むため、江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部(以下「推進本部」という。)を置く。

## (所掌事務)

第2条 推進本部の所掌事務は、次に掲げる事項とする。

- (1)地方人口ビジョン及び総合戦略の策定に関すること。
- (2)総合戦略の推進に関すること。
- (3)その他本部長が必要と認めること。

## (組織)

第3条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。

- 2 本部長は、市長をもって充てる。
- 3 副本部長は、副市長をもって充てる。
- 4 本部員は、教育長、部長及びこれに相当する職の者をもって充てる。

## (本部長及び副本部長の職務)

第4条 本部長は、推進本部を代表するとともに、会務を総理し、推進本部の会議(以下「会議」という。)の議長を務める。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第5条 会議は、本部長が必要に応じて招集する。

- 2 会議は、推進本部の所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係職員の出席を求めることができる。

## (幹事会)

第6条 推進本部に必要な調査及び会議に付議すべき事案の検討を行うため、推進本部に幹事会を置くことができる。

- 2 幹事会は、幹事長、幹事長代理及び幹事をもって組織する。
- 3 幹事会の議事その他幹事会の運営に必要な事項は、本部長が定める。

## (庶務)

第7条 推進本部の庶務は、市長政策室地方創生推進課において処理する。

## (雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進本部に関し必要な事項は、本部長が定める。

## 附 則

この要綱は、平成27年1月26日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

## 2. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会設置要綱

### (設置)

第1条 まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)に基づく江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)等の推進にあたり、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めるため、江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

### (意見を求める事項)

第2条 協議会において意見を求める事項は、次のとおりとする。

- (1)総合戦略の見直しに関する事
- (2)総合戦略に定める施策及びKPI(重要業績評価指標)に関する事
- (3)総合戦略に基づき実施する事業及び事業の検証に関する事。
- (4)その他総合戦略に関し必要な事項

### (組織)

第3条 協議会の委員(以下「委員」という。)は10人以内とする。

2 委員は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1)学識経験を有する者
- (2)各種機関・団体の代表者
- (3)市民(在勤者、在学者を含む。)

### (会長)

第4条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会の会務を総理し、議事を進行する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (任期)

第5条 委員の任期は、2年間とする。ただし、再任を妨げない。

### (会議)

第6条 協議会の会議は、市長が、必要に応じて招集する。

### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、市長政策室地方創生推進課において処理する。

### (雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成28年4月20日から施行する。

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進捗状況報告書

平成 29 年 7 月

発行 愛知県江南市

〒483-8701

愛知県江南市赤童子町大堀 90

電話 (0587)54-1111(代)

編集 市長政策室地方創生推進課

区分	数値目標	基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
基本目標 1 住みたいまち”江南”づくり										
	転出者数	3,137人	2,700人	3,293人	3,226人					
	転入者数	3,245人	2,660人	3,537人	3,413人					
	交流人口	1,691,351人	1,860,000人	1,861,613人	1,805,038人					
基本施策 1-① 江南の優位性を活かした生活環境づくり										
	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	駅周辺の交流施設数	3箇所	4箇所	3箇所	3箇所					
	いこまいCARの登録者数	6,443人	8,000人	6,874人	7,264人					
	資源ごみリサイクルステーションの開場日数(一週間あたり)	—	6日	—	—					
《目標達成のための取組・事業》 江南市の顔となる駅前の魅力向上										
	進捗管理	基準値	目標値	実績値					備考	
	管理項目	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	花や緑を増やす取組	参加団体数	29団体	29団体	28団体				まちづくり課	
	駅周辺の交流拠点の整備	駅周辺の交流施設数	3箇所	4箇所	3箇所	3箇所			地方創生推進課	
交通ネットワークの維持・充実										
	いこまいCARの利用促進に向けた取組	いこまいCARの登録者数	6,443人	8,000人	6,874人	7,264人			市民サービス課	
	市内公共交通網の見直し	28年度に基礎調査を実施	—	—	実施				市民サービス課	
資源ごみリサイクルステーションの常設										
	資源ごみリサイクルステーションの常設	資源ごみリサイクルステーションの開場日数(1週間あたり)	—	6日	—	—			環境課	
新体育館の建設・活用										
	新体育館の利用促進、及び防災拠点としての活用	利用者数、防災拠点としての訓練等の実施回数	—	—	—	—			生涯学習課	
自転車利用の促進										
	自転車利用のためのマナーアップ(広報・PR、講習会開催等)	講習会等の開催回数	51回	50回	45回				防災安全課	
	道路管理	道路修繕件数	523件	460件	518件				土木課	
ICT教育の推進										
	市内小・中学校へのタブレット端末導入およびWi-Fi環境整備	タブレット端末を導入している公立学校の数	0校	0校	0校				教育課	
基本施策 1-② 人を惹きつける江南の魅力発信										
	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値						
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	シティプロモーションビデオの閲覧者数	—	7,500人	—	7,010人					
	歴史を活かしたイベントの参加者数	13,938人	43,800人	39,545人	49,281人					
	ふるさと納税の納税者数	1,616人	1,800人	1,362人	697人					
	マスコミ取り上げの件数	373件	560件	441件	413件					
《目標達成のための取組・事業》 シティプロモーションの推進										
	進捗管理	基準値	目標値	実績値						
	管理項目	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	知名度向上に向けた取組	シティプロモーションビデオの閲覧者数	—	7,500人	—	7,010人				
		市HP閲覧状況(ページビュー数)	549,157件	—	548,969件	490,801件			地方創生推進課	
		市Facebookの閲覧状況(いいね数)	200件	—	421件	580件				
		マスコミ取り上げの件数	373件	560件	441件	413件				
交流イベント事業等の推進										
	地域活性化・交流イベントの参加	愛知県観光利用者統計(江南市分)に関連するイベント等の参加者数	1,691,351人	—	1,861,613人	1,805,038人			商工観光課	
		木曾川自転車散歩など地域活性化・交流イベントの参加者数	14人(午前10時30分に雨天のため中止)	—	0人(雨天中止)	234人			まちづくり課	
歴史を活かしたまちづくりの推進										
	歴史をテーマとしたイベント等の継続的な実施	すいとびあふるさと文化育成等事業の参加者数	4,196人	32,900人	29,680人	38,552人			商工観光課	
		布袋ぶらりん日和事業の参加者数	1,158人	1,400人	1,366人	1,384人			まちづくり課	
		文化財普及事業への参加者数	8,584人	9,500人	8,499人	9,345人			生涯学習課	
江南ふるさと検定による江南の魅力発信										
	江南ふるさと検定の普及・PR	ふるさと検定受験者数	117人	—	54人	29人			商工観光課	
	江南の歴史・文化のPR	江南の歴史・文化に関するホームページの閲覧者数	23,075人	—	18,422人	23,758人			地方創生推進課 生涯学習課	
ふるさと納税の拡大										
	ふるさと納税のPR	ふるさと納税の納税者数	1,616人	1,800人	1,362人	697人			地方創生推進課	
	人口ビジョン実現に向けた各種事業への出資等の応援	クラウドファンディングによる寄付額	—	—	—	395,000円			地方創生推進課	
空家対策の推進										
	空家等対策計画の策定	平成29年度までに空家等対策計画の策定	—	—	—	—			建築課	
移住者支援の推進										
	移住者支援の取組	平成29年度までに空家等対策計画の策定	—	—	—	—			地方創生推進課	
ICTを活用した歴史ミュージアムの整備推進										
	歴史に関するICT環境整備等に向けた検討	ICTを活用した歴史ミュージアム整備に関する検討	—	—	—	—			商工観光課 まちづくり課 生涯学習課	



各種取組・事業の進捗状況管理シート

基本目標2 子育てしやすい環境づくり

区分	数値目標	基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
基本目標 2 子育てしやすい環境づくり										
1,000人あたりの出生数		7.9	8.5	7.1	7.1					
基本施策 2-① 地域全体で子育てする環境づくり										
重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
ファミリー・サポート・センター事業の援助者数		109人	120人	103人	97人					
子育て支援センターの利用者数		13,178組	25,000組	19,053組	20,474組					
コミュニティスクール事業を実施している公立小中学校の数		—	15校	0校	0校					
《目標達成のための取組・事業》 ファミリー・サポート・センター事業の推進										
進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考	
管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
ファミリー・サポート・センター事業の利用促進	ファミリー・サポート・センター事業の援助者数	109人	120人	103人	97人				子育て支援課	
一時預かり事業の利用促進	一時預かり事業利用者数	3,595件		3,161件	2,942件				子育て支援課	
小学生以下の子どもを対象とした読書通帳の配布										
小学生以下の読書習慣の定着	読書通帳の配布冊数	—		6,657冊	1,710冊				生涯学習課	
育児不安の解消に向けた支援										
子育て支援センターの利用促進	子育て支援センターの利用者数	13,178組	25,000組	19,053組	20,474組				子育て支援課	
病児保育サービスの充実										
病児保育サービスの充実	病児保育研修会参加者数	—		19人	—				子育て支援課	
病児保育サービスの利用状況	病児保育サービス利用者数	—		—	8人				子育て支援課	
コミュニティスクール事業の推進										
コミュニティスクール事業の導入状況	コミュニティスクール事業を実施している公立小中学校の数	—	15校	0校	0校				教育課	
赤ちゃんとお出かけ支援										
赤ちゃんとお出かけ支援への環境整備	情報提供に参加協力している事業者数	—		—	—				子育て支援課	
子育て支援サービスの情報発信										
子育て支援サービスの情報発信	情報提供内容の検討	1,500部		3,000部	3,000部				子育て支援課	
基本施策 2-② 子育てを支援する制度の充実										
重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
保育園入園待機児童数		0人	0人	0人	0人					
放課後児童健全育成事業(学童保育)の定員		468人	816人	552人	626人					
放課後子ども教室の教室数		4室	7室	5室	6室					
《目標達成のための取組・事業》 子ども医療費の全額助成										
進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考	
管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
中学生までの子ども医療費の全額助成	中学生までの子ども医療費の全額助成	—		—	実施				保険年金課	
低年齢児を受け入れるための保育施設の整備										
低年齢児を受け入れるための保育施設の整備	低年齢児専用保育室利用者数	541人		543人	540人				子育て支援課	
低年齢児保育を行う職員向けの研修実施	低年齢児保育関連研修会参加者数	—		25人	36人				子育て支援課	
不妊治療への支援										
不妊治療への支援	一般不妊治療費助成事業申請者(人工授精のみ)の組数	27組		39組	36組				健康づくり課	
不妊相談窓口の周知	不妊相談のPR回数	随時		随時	随時				健康づくり課	
放課後児童健全育成事業(学童保育)の利用対象年齢の拡充、整備										
学童保育の利用対象年齢の拡充	放課後児童健全育成事業(学童保育)の定員	468人	816人	552人	626人				子育て支援課	
放課後子ども教室の整備										
小学生の放課後の安全な居場所づくり	放課後子ども教室の教室数	4室	7室	5室	6室				教育課	
アレルギーのある保育園児への給食の提供										
保育園でアレルギーを持つ子どもが安心して給食を食べられる取組	アレルギー除去食担当の調理員数	0園		0園	8園				子育て支援課	
学校補助教員等の充実										
他市より優れた学校教育の実現に向けた取組	学校補助教員等の配置数	65人		65人	68人				教育課	
子どもたちの食の安全確保と地産地消による食育の推進										
郷土学習、食育の推進に向けた取組	県内産の食材使用率	40.3%		35.7%	35.2%				教育課	
	自園栽培食材を使用した給食等の実施回数	—		384回	490回				子育て支援課	

各種取組・事業の進捗状況管理シート

基本目標3 働き続けられる雇用・就労環境づくり

区分	数値目標	基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
基本目標 3働き続けられる雇用・就労環境づくり										
	市内就業者数	33,215人	33,500人	-	-					
	新規就農者数(累計)	2人	4人	2人	3人					
基本施策 3-① 雇用力の強化と場の拡大										
	重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考
			H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31	
	就職相談により就職が決定した件数		570件	750件	545件	456件				
	企業誘致等により立地した企業数(累計)		-	3件	0件	0件				
《目標達成のための取組・事業》 市内企業への就職支援										
	進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考
	管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31	
	就職希望者と市内企業への支援	就職相談により就職が決定した件数	570件	750件	545件	456件				商工観光課
市内企業の振興										
	市内企業への支援	市内企業向け助成の利用件数	-		0件	0件				商工観光課
企業誘致の推進										
	企業誘致等への取組	企業誘致等により立地した企業数(累計)	-	3件	0件	0件				商工観光課
創業・起業への支援										
	創業・起業支援への取組	創業・起業支援により創業・起業した会社数	0社		0社	4社				商工観光課
基本施策 3-② 就労環境の整備										
	重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考
			H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31	
	市内の愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度への加入企業数		10社	20社	11社	12社				
《目標達成のための取組・事業》 女性・高齢者等の就労環境の整備										
	進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考
	管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31	
	女性の就職希望者と市内企業への支援	江南ワーキングステーションの相談者数	756人		621人	717人				商工観光課
	高齢者雇用機会の創出に向けた支援	シルバー人材センターの登録者数	344人		344人	329人				高齢者生きがい課
	障がい者雇用の実施	障害者の雇用率	1.59%		1.70%	1.69%				福祉課
	子育て中でも働ける企業・就労環境の実現に向けた支援	就業の機会均等に関する啓発回数	0回		0回	2回				生涯学習課
ワーク・ライフ・バランスの推進										
	市内企業のワーク・ライフ・バランスへの取組	市内の愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度への加入企業数	10社	20社	11社	12社				商工観光課
		市内企業への啓発活動回数	14回		19回	20回				商工観光課 生涯学習課
基本施策 3-③ 地域資源による雇用の創出										
	重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考
			H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31	
	耕作放棄地の面積		198ha	190ha	191.9ha	211ha				
《目標達成のための取組・事業》 耕作放棄地の再活用の推進										
	進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考
	管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31	
	耕作放棄地の有効利用に向けた取組	耕作放棄地の面積	198ha	190ha	191.9ha	211ha				農政課
	新規就農者への支援	新規就農者数	2人	4人	2人	3人				農政課
地場産品のブランド化										
	江南市特産品の知名度向上に関する取組	農業まつりでの出品点数	-		1,304点	1,159点				農政課

各種取組・事業の進捗状況管理シート

基本目標4 安心して暮らせる地域づくり

区分	数値目標	基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
基本目標 4安心して暮らせる地域づくり										
	要介護認定者数の増加率(対前年比)	4.6%	3.5%	5.1%	1.1%					
	市内の犯罪発生件数(年間総数)	960件	910件	967件	819件					
基本施策 4-① 高齢者の見守り事業の推進										
重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	高齢者の見守り事業に協力する団体数	55団体	60団体	55団体	58団体					
	こうなん健康マイレージ事業の参加者数	-	1,000人	170人	269人					
《目標達成のための取組・事業》 高齢者の見守り事業の推進										
進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考	
管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
高齢者の見守りに関する取組	高齢者の見守り事業に協力する団体数	55団体	60団体	55団体	58団体				高齢者生きがい課	
高齢者が活躍できる場づくり										
高齢者の活躍の場づくり	高齢者の生きがいづくりを推進するNPOボランティア団体数	6団体		6団体	6団体				地方創生推進課	
	高齢者教室受講者数	9,275人		9,128人	9,230人				生涯学習課	
生涯を通じた健康づくりの推進										
こうなん健康マイレージ事業の普及	こうなん健康マイレージ事業の参加者数	-	1,000人	170人	269人				健康づくり課	
医療・福祉におけるサービス提供の充実										
在宅医療・在宅介護連携の取組	在宅医療部会等の開催回数	-		3回	4回				高齢者生きがい課	
買い物困難者への支援の充実										
給食サービスの支援	給食サービスの配食数	52,443食		60,564食	61,412食				高齢者生きがい課	
買い物困難者への支援	移動販売車の利用者数	-		-	-				商工観光課	
基本施策 4-② 地域でつくる安全・安心なまち										
重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	地域コミュニティ団体数	493団体	566団体	500団体	502団体					
	消防団員の応急手当普及員認定者数	11人	26人	17人	21人					
	災害時における企業・自治体との応援・支援協定数	39件	44件	40件	44件					
《目標達成のための取組・事業》 乳児専用の避難所の開設										
進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考	
管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
乳幼児避難所の周知に関する取組	周知計画の検討、及び周知	-		協議会開催数3回、ポスター印刷枚数300枚	全69自主防災会にポスターを配布				防災安全課	
コミュニティの維持支援										
地域コミュニティ活性化に向けた支援	地域コミュニティ団体数	493団体	566団体	500団体	502団体				防災安全課 高齢者生きがい課 子育て支援課 地方創生推進課	
市民主体の地域防災と消防団の充実強化										
市民主体の地域防災と消防団の充実強化に関する取組	ボランティアコーディネーター数	23人		52人	66人				防災安全課	
	消防団員の応急手当普及員認定者数	11人	26人	17人	21人				総務予防課	
災害時における企業・自治体との応援・支援協定の締結促進										
災害時における企業・自治体との応援・支援体制構築に関する取組	災害時における企業・自治体との応援・支援協定数	39件	44件	40件	44件				防災安全課	
公共施設の配置や管理の適正化										
公共施設マネジメントの取組	公共施設等総合管理計画等の策定及び実施	-		公共施設等総合管理計画策定完了	公共施設再配置計画策定(実態・配置状況分析、評価基準設定)				秘書政策課	
防災へのICTの活用・整備										
ICT活用による防災への取組	H32年度までに防災に関するアプリを開発	-		-	H29運用開始のために開発				防災安全課	
避難行動要支援者名簿登録制度の取組	避難行動要支援者名簿の登録件数	778件		748件	745件				福祉課	
基本施策 4-③ 外国人居住者のための支援充実										
重要業績評価指標(KPI)		基準値	目標値	実績値					備考	
		H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
	多文化共生事業への参加者数	6,470人	7,000人	6,693人	6,784人					
《目標達成のための取組・事業》 外国人居住者への相談サービスの充実										
進捗管理		基準値	目標値	実績値					備考	
管理項目	指標	H26	H31	H27	H28	H29	H30	H31		
外国人居住者への相談サービスの実施	就学を希望する外国人居住者の就学率	100%		100%	100%				教育課	
	国際交流協会の生活相談の相談者数	315人		203人	249人				生涯学習課	
外国人居住者と地域住民との交流促進										
外国人居住者と地域住民との交流促進に関する取組	多文化共生事業への参加者数	6,470人	7,000人	6,693人	6,784人				生涯学習課	

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る提言等に対する対応状況(実績・計画等)

資料3

区分	担当課	内容	対応(実績・計画等)
提言	子育て支援課	授乳やおむつ替えができる施設の情報提供の充実 基本施策2-①地域全体で子育てする環境づくり vi)赤ちゃんとお出かけ支援について、授乳やおむつ替えのために立ち寄れる施設(例えば市役所や保育園など)の情報提供や看板等の掲示をきめ細かく行い、より分かりやすくする必要はある。	外出する時に気軽に授乳やおむつ替えのできる施設として、保育園等が利用できることを知らない方も多くいると考えられるため、ファミリー・サポート・センターや子育て支援センターの利用者に対しても、「赤ちゃん おでかけ ほっとステーション」についての案内を実施し、周知を行う。
	総務課		現在、市役所では、授乳室の場所を市役所内のフロアマップで掲示し、多目的トイレにおむつ替え可能なトイレであることが分かる表示板を設置している。
	商工観光課	買い物困難者を含めた社会的弱者への配慮 基本施策4-①高齢社会を支える仕組み体制づくり v)買い物困難者への支援を充実する一環として、商業施設が遠方にある住民を対象とした支援を図る必要がある。 また、住みたいまち・住み続けたいまちの実現のために社会的弱者へのきめ細かな配慮を図っていく必要がある。	高齢者生きがい課において、一般高齢者へのアンケートの中で日常の買い物に不便を感じているかを調査したことから、その結果に基づき商業振興の視点で検討していく。
			平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始した。この事業は、市や既存の介護保険サービス事業所だけでなく、NPOや民間事業者、地域住民などが提供するサービスを想定している。これらの資源を活用しながら、高齢者を支える仕組みづくりを進めていく。
追加質問	高齢者生きがい課	介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定にあたりアンケートによる、買い物の不便を感じていることに関する実態把握の結果を示してほしい。	一般高齢者のアンケートより、日常の買い物において不便を感じている割合は16.4%で、年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。そのうち、不便に感じている理由は「店までの距離が遠い」が39.1%と最も高く、どのような支援サービスを利用したいかについては、「お店で買った商品の宅配サービス」が22.3%、「送迎バス・乗合タクシー等」が18.8%、「移動スーパー、移動販売」が11.7%となっている。

区分	担当課	内容	対応(実績・計画等)
提言	秘書政策課	<p>公共施設の配置や管理の適正化 基本施策4-②地域でつくる安心・安全なまち v)公共施設の配置や管理の適正化について、老朽化した公共施設の建て替えや統廃合は、これからのまちづくりとも深く絡んでいるので、地方創生や企業誘致、都市計画との更なる連携を図っていく必要がある。</p>	<p>施設の統廃合等による施設総量の縮減は、行政サービスの低下に繋がりがねないため、単に財政負担の軽減を目的としたものではなく、総合計画や総合戦略、都市計画において描く市の将来像の実現のための新たなまちづくりの契機として捉え、公共施設の適正な配置や運営などについて検討していく。</p>
	まちづくり課	<p>10年先、20年先を見据えた将来展望 人口ビジョンにも示されているとおり、少子高齢化と人口減少は避けることはできないため、それらを踏まえた10年先、20年先の江南市のすがたを見据え、市民がより一層住みやすくなる生活環境を目指して、都市計画の将来展望を持ってほしい。</p>	<p>平成29年度から平成31年度にかけて立地適正化計画を策定していく中で、都市機能誘導区域やその周辺に公共施設等総合管理計画で掲げる管理目標と連携した施設配置方針を示していく。</p>
	秘書政策課	<p>赤ちゃんとお出かけ支援の今後の展望を教えてください。 簡易テントと簡易ベッドを合わせた移動式授乳室について調査・研究していたと思うが、それまでの調査・研究の経緯とその後の検討はどうなっているのか。(調査・研究のプロセスはどのようになっているのか。)</p>	<p>現在策定している第6次江南市総合計画(計画期間平成30年度～平成39年度)では、人口減少社会を前提とし、「総合戦略」における人口減少抑制対策の実施を基本に、戦略的な施策実施により地域の魅力向上を図り、江南市が持続的に発展していくための地域社会の実現を、市民と行政が協働で目指している。計画に沿って、将来を見据えた施策を進めていく。</p>
追加質問	子育て支援課	<p>低年齢児を受け入れるための保育施設の整備についても今後の実施予定を教えてください。</p>	<p>簡易テントと簡易ベッドを合わせた移動式授乳室については、導入している自治体の状況や当市で導入した場合の経費について調査を実施した。今後、早期の導入に向けて検討を行っていく。</p>
			<p>平成29年度は、小鹿保育園、古知野北保育園、布袋保育園において、低年齢児が利用する保育室等の床改修を実施する予定である。また、幼稚園の認定こども園への移行に向けた施設整備を支援し、平成30年度から、認定こども園が設置され、低年齢児の保育の受け皿が確保される予定である。</p>

区分	担当課	内容	対応(実績・計画等)
追加質問	教育課	スクールソーシャルワーカーの配置について、検討されているか。	平成29年度より2名のスクールソーシャルワーカーを配置した。(古知野南小学校を拠点として、各学校を訪問。)
		学校補助教員として退職された先生にお願いすることはできないか。	学校補助教員につきましては、パート職員として、退職された方に限らず公募により採用していく。

## 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略 新旧対照表

## 1 基本目標1:住みたいまち“江南”づくり

## 基本施策1-② 人を惹きつける江南の魅力発信

江南市の魅力である自然豊かな居住環境や、歴史資源、木曾川沿いのレクリエーション空間などを知ってもらい、若い世代に将来住んでみたいと感じてもらうため、シティプロモーションの方針や観光ビジョンを定め、各種地域資源を活用したイベントの開催等により、交流人口の増大や魅力度、知名度の向上に取り組みます。

(旧)

	項目	基準値(H26)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	シティプロモーション ビデオの閲覧者数	—	<u>2,000人</u>
	歴史を活かした イベントの参加者数	<u>16,086人</u>	<u>45,300人</u>



(新)

	項目	基準値(H26)	目標値(H31)
重要業績 評価指標 (KPI)	シティプロモーション ビデオの閲覧者数	—	<u>7,500人</u>
	歴史を活かした イベントの参加者数	<u>13,938人</u>	<u>43,800人</u>

<参考>実績値(H28) シティプロモーションビデオの閲覧者数 7,010人  
歴史を活かしたイベントの参加者数 49,281人

## 2 基本目標2:子育てしやすい環境づくり

### 基本施策2-① 地域全体で子育てする環境づくり

若い世代が安心して子育てができるよう、妊娠・出産から育児まで切れ目のない支援サービスや、様々な子育て支援サービスに関する積極的な情報発信、市民相互での援助などによる地域全体で子育てする環境づくりに取り組みます。

(旧)

重要業績 評価指標 (KPI)	項目	基準値(H26)	目標値(H31)
	子育て支援センター の利用者数	13,178組	<u>15,000組</u>



(新)

重要業績 評価指標 (KPI)	項目	基準値(H26)	目標値(H31)
	子育て支援センター の利用者数	13,178組	<u>25,000組</u>

<参考>実績値(H28) 20,474組